

EU Indicators

欧州経済指標コメント：4月ユーロ圏PMI速報値

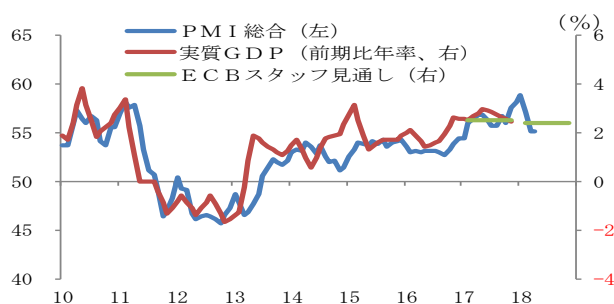
発表日：2018年4月23日(月)

～踏みとどまった～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

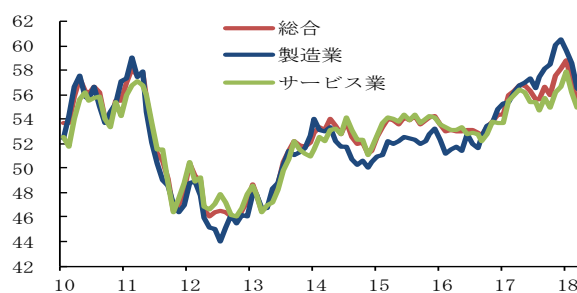
- 4月のユーロ圏のPMI総合指数(速報値)は前月から不変。1月をピークに2ヶ月で3.7ポイントもの急低下を記録したが、ひとまず改善モメンタムの鈍化が一服した。業種別の内訳は、昨年12月に過去最高を記録した製造業が4ヶ月連続で鈍化した一方、1月に約10年半振りの高水準を記録したサービス業が2ヶ月連続で鈍化した後に横這い推移。但し、製造業の低下幅、サービス業の反発はともに小幅。発表元によれば、4月計数はユーロ圏の実質GDPでみて前期比+0.6%の成長ペースに相当。
- 製造業PMIの内訳は、指数を構成する5項目(生産、受注、雇用、在庫、入荷遅延)のうち、新規受注、雇用、入荷遅延(逆符号)が低下した一方で、在庫が上昇し、生産が横這い。ドイツでは人手不足が入荷遅延につながり、フランスでは鉄道ストが成長抑制に働いたとの報告もある。
- 国別・業種別の内訳は、ドイツとフランスで揃って製造業が4ヶ月連続で低下、サービス業が3ヶ月振りに増加。ここから逆算して、その他ユーロ圏では、製造業とサービス業が揃って低下した模様。
- 過度な楽観論の後退や貿易戦争への警戒から、企業景況感の歴史的な高水準からの調整が続いている。一方的なモメンタムの冷え込みはひとまず一服し、昨年後半から年始にかけてのモメンタムの加速を吐き出した形。このまま待ち応えて巡航速度に着地するか、ズルズル減速に向かうかの分岐点にある。サービス業が比較的しっかりしていることや受注の鈍化ペースが一服してきていることから、景気の一方的な冷え込みにつながる可能性は低いと判断している。

■ユーロ圏：PMI総合と実質GDP



出所：IHS Markit、欧州統計局、欧州中央銀行

■ユーロ圏：製造業PMI



出所：IHS Markit

■購買担当者指数 (PMI、季節調整済み)

	2017			2018			2018											
	2Q	3Q	4Q	1Q	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月				
ユーロ圏 総合産出指数	56.6	56.0	57.2	57.0	55.7	55.7	56.7	56.0	57.5	58.1	58.8	57.1	55.2	55.2				
製造業購買担当者指数	57.0	57.4	59.7	58.2	56.6	57.4	58.1	58.5	60.1	60.6	59.6	58.6	56.6	56.0				
サービス業業況指数	56.0	55.3	56.0	56.4	55.4	54.7	55.8	55.0	56.2	56.6	58.0	56.2	54.9	55.0				
ドイツ 総合産出指数	56.8	56.1	57.6	57.2	54.7	55.8	57.7	56.6	57.3	58.9	59.0	57.6	55.1	55.3				
製造業購買担当者指数	59.1	59.3	62.2	60.0	58.1	59.3	60.6	60.6	62.5	63.3	61.1	60.6	58.2	58.1				
サービス業業況指数	54.9	54.1	54.9	55.5	53.1	53.5	55.6	54.7	54.3	55.8	57.3	55.3	53.9	54.1				
フランス 総合産出指数	56.7	56.0	59.1	57.7	55.6	55.2	57.1	57.4	60.3	59.6	59.6	57.3	56.3	56.9				
製造業購買担当者指数	54.6	55.6	57.5	56.0	54.9	55.8	56.1	56.1	57.7	58.8	58.4	55.9	53.7	53.4				
サービス業業況指数	56.9	56.0	58.9	57.8	56.0	54.9	57.0	57.3	60.4	59.1	59.2	57.4	56.9	57.4				

出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。